

会議録

| | | | | |
|--------------|--|-------------------|-----|--------|
| 会議の名称 | 第5回ふじみ野市総合振興計画審議会 | | | |
| 開催日時 | 平成29年5月11日（木曜日） 午後7時から8時35分 | | | |
| 開催場所 | ふじみ野市役所本庁舎3階 A301会議室 | | | |
| 出席した者の氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
| | 会長 | 中村 賢一 | 委員 | 福村 光泰 |
| | 副会長 | 富田 信太郎 | 委員 | 西村 ひろみ |
| | 委員 | 野澤 利夫 | 委員 | 牛場 清 |
| | 委員 | 岸 昌哉 | 委員 | 進藤 美奈子 |
| | 委員 | 柳沢 俊男 | 委員 | 渡辺 千尋 |
| | 委員 | 大平 聡男 | | |
| 欠席者名 | 郷 秀樹委員、鈴木 絵里委員 | | | |
| 会議の議題 | 1. 開会 2. 内容 (1) ふじみ野市最上位計画パブリック・コメント（案）について (2) その他 3. 閉会 | | | |
| 会議の公開又は非公開の別 | 公開 | | | |
| 会議の非公開の理由 | — | | | |
| 傍聴人の数 | 0人 | | | |
| 発言の内容 | 別紙「発言の要旨」のとおり | | | |
| 会議資料 | 次第 資料1 ふじみ野市最上位計画（Ⅰ序論、Ⅱ基本構想）パブリック・コメント（案） 資料2 ふじみ野市最上位計画（Ⅲ前期基本計画）パブリック・コメント（案） | | | |
| 事務局 | 総合政策部 経営戦略室 （金子部長、樋口室長、武井副室長、黒川主任、西口主事） アビームコンサルティング株式会社 | | | |
| 議事の確定 | 確定年月日 | 平成29年5月24日 | | |
| | 記名押印 | 役職名 会長 中村 賢一 ㊟ | | |

発言の要旨

| 発言者 | 発言の要旨 |
|------|---|
| 中村会長 | <p>1. 開会</p> <p>本日は資料1「ふじみ野市最上位計画（Ⅰ序論、Ⅱ基本構想）パブリック・コメント（案）」と資料2「ふじみ野市最上位計画（Ⅲ前期基本計画）パブリック・コメント（案）」、この2つについて議論していただきます。基本的には本日の議論とパブリック・コメントによる市民の意見等を受けて、最終的に修正する形となり、その後は大幅な修正を加える時間がないと思われます。このことから本審議会としての実質的な議論は本日が最後になると思います。また、資料1については前回までの議論で意見交換ができていますので、本日は主に資料2についての議論になると思います。よろしくお願いいたします。それでは、議題1「ふじみ野市最上位計画パブリック・コメント（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>2. 議題</p> <p>(1) ふじみ野市最上位計画パブリック・コメント（案）について （資料1「ふじみ野市最上位計画（Ⅰ序論、Ⅱ基本構想）パブリック・コメント（案）」、資料2「ふじみ野市最上位計画（Ⅲ前期基本計画）パブリック・コメント（案）」を基に説明）</p> |
| 中村会長 | <p>本審議会ですっかりと議論した上でパブリック・コメントを募集したいと思いますのでよろしくお願いいたします。ご意見やご質問等はありませんでしょうか。</p> |
| 牛場委員 | <p>資料1の25ページ「3重点戦略の実行」について、それぞれ重点戦略の記述がされている順番は、各分野の順番に合わせたとの説明がありましたが、資料2の7ページから12ページの「前期重点プロジェクト」では、各プロジェクトの「重点的な取組」を確認すると、分野が入り組んでいるように見えます。この辺りを整理できないでしょうか。</p> |
| 中村会長 | <p>ここは、重点戦略をどのように捉え、順番を決定するかといった話しになってくるかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>重点戦略の考え方については、分野をまたがる重点戦略を4つに絞込みました。前期重点プロジェクトも同様に効果的にプロジェクトを実施するため分野や施策がまたがっても良いと考え設定したものです。</p> |

| | |
|-------|---|
| 牛場委員 | <p>前期重点プロジェクトを見ると分野をまたがっていないものもあるのではないのでしょうか。例えば重点戦略3「子育てや教育の充実したまちをつくる」であれば、前期重点プロジェクト3の「子育てするならふじみ野市プロジェクト」と前期重点プロジェクト4の「次代を担う子どもを育むプロジェクト」ですが、取組みとしては子育て関係であり、分野であれば分野3の子育て・福祉でまとまっていると思います。</p> |
| 事務局 | <p>各プロジェクトにおける「重点的な取組」を重視する中で、関連する施策の指標を連動させているので、無理があるように見えてしまうのかもしれませんが、あくまでも前期重点プロジェクトを評価するための指標です。</p> |
| 牛場委員 | <p>各施策の指標から「重点的な取組」に関連する指標を持ってくると、その指標が重要であるように見えます。</p> |
| 事務局 | <p>指標として違和感があるものがあれば、ご指摘いただき検討したいと考えております。</p> |
| 岸委員 | <p>資料2の6ページ「前期重点プロジェクト」に関して、言葉の重複が多いのではないのでしょうか。図の中では「プロジェクト」という言葉が3つ出てきて分かりづらくなっています。各プロジェクトでは、例えば「前期重点」という言葉を取って「プロジェクト1“オールふじみ野”まちづくり」とした方が良いのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘を踏まえて、図にある「前期重点プロジェクト1～6」を削除し、7ページから12ページのタイトル部分を引用したいと思います。</p> |
| 富田副会長 | <p>資料1の26ページ、「将来人口」が118,000人となっていますが、12ページの将来展望の人口117,900人と同じ値にした方が良いのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおり12ページの将来展望では117,900人になっておりますが、市の将来人口はあくまで目標としている人口ですので、千単位で丸め118,000人に修正しています。</p> |
| 富田副会長 | <p>市の目標ということになるとニュアンスが変わってしまうのではないのでしょうか。将来人口の推計を行い117,900人という数字が出て</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>きたのであれば、その代数で118,000人にしたという回答の方が良いのではないのでしょうか。目標となると話が変わってくる気がします。</p> |
| 事務局 | <p>推計した際には、12ページの注釈★8に平成42年にかけて希望出生率の「1.8」に到達するものとして想定したという表現をしており、かなりハードルの高い数字を目標として入れております。今の少子化や日本全体の予測されている将来人口を考慮すると、本市においてはこの数字を目指さなければならないと考え、設定したものです。</p> |
| 富田副会長 | <p>将来展望の117,900人は目標ではなく、推計値なのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>平成42年にかけてふじみ野市の希望出生率はハードルの高い「1.8」に到達するものとして推計した数字であり、ふじみ野市の思いが入った目標になっています。</p> |
| 岸委員 | <p>本計画というのは、平成42年以降、ふじみ野市の人口が減り始めてしまうので、平成30年から13年間の計画を策定していることから、将来人口については、非常に重要なポイントになると思います。将来展望で117,900人となっているのに、概数で118,000人にしたというのは違和感があります。117,900人にすべきではないのでしょうか。</p> |
| 中村会長 | <p>ここは、「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と本計画には違いがあり、「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では国から人口ビジョンで努力を求められた推計で策定していますが、本計画は推計値に見合った施策を網羅しているというスタンスなのか、努力して目指すということなのかで意味が変わってくるのではないのでしょうか。</p> |
| 柳沢委員 | <p>12ページの将来展望で117,900人という数字が出ているのであれば、そこには「目標」という言葉は出てこないもので、将来人口を117,900人とした方が良いのではないのでしょうか。</p> |
| 中村会長 | <p>端数が出てくると何となく違和感があるように思えてしまいますが、118,000人と117,900人では数字の意味が変わってくると思います。</p> |

| | |
|-------|--|
| 牛場委員 | 前期基本計画が終わる6年後には人口の再推計を行うのでしょうか。人口推計なので、その時には数字が変わってくると思います。 |
| 事務局 | 数字に変化があるとは思いますが、将来人口は基本構想部分になるので、相当なことが起こらない限り、修正することは考えておりません。 |
| 富田副会長 | 将来人口のあり方について議論するには時間が足りないため、ここは人口推計に基づいた数字とする方が現実的であり、将来人口は117,900人として、ここに12ページの「ふじみ野市の人口と人口構造」のグラフを載せれば分かりやすく、整合性が取れると思いますがいかがでしょう。 |
| 事務局 | 人口推計では、117,900人となり、ある程度区切りの良い数字が出ておりますが、例えば、1人単位の数字が出た場合にはその数字を将来人口に設定することは好ましくないと考えます。これまでも多くの市町村で将来人口の数字を示す際には端数整理をすることが一般的でしたので、切の良い数字で118,000人としました。 |
| 中村会長 | 切の良い数字であるのであれば、120,000人でも良く、その根拠を問われたときに説明しづらいのではないのでしょうか。118,000人とした場合には、人口推計では117,900人となったけれども端数整理により118,000人にしたなどのコメントが必要になってくると思います。 |
| 柳沢委員 | 12ページの将来展望を見ると、平成37年から42年にかけては145人のみの増加で、大きな変動ではありません。千人単位で変動しているのであれば、百人単位を四捨五入することも違和感はありませんが、この推計値を見る限り、端数整理をするよりは細かく推計された数字を使用した方が良いのではないのでしょうか。 |
| 中村会長 | それでは、各委員のご意見等を踏まえ、26ページの将来人口は12ページで推計された117,900人とすることでよろしいのでしょうか。 |
| 事務局 | ご指摘のとおり117,900人に修正させていただきます。 |
| 牛場委員 | 資料2、123ページの分野別計画を支える取組はこれまでなかった内容だと思いますが、物的資源に関する記述は本当に実行可能なのでしょうか。133ページでは、公共施設保全計画を策定するということが記 |

| | |
|------|---|
| | <p>述されていますが、以前には策定することが難しいと伺ったことがあります。</p> |
| 中村会長 | <p>公共施設等総合管理計画の策定後、個別施設計画がなければ国から老朽化対策などの交付金が交付されなくなるため、各自治体は策定せざるを得ないのではないかと思います。</p> |
| 牛場委員 | <p>お金を掛けられない中で、どうやって策定するのか非常に難しいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>ふじみ野市行政評価外部評価委員会の中でも申し上げておりましたが、公共施設保全計画を策定する上での課題は、過去の修繕履歴の把握が難しいことです。ただし、現時点では担当課から、公共施設保全計画を策定すると聞いております。</p> |
| 牛場委員 | <p>この第5章については、実際に本計画が仕上がったときにどのような形で掲載されるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>第5章は分野1から9までの取組について、ヒト・モノ・カネという経営資源をどのように効率良く投下して、その目標を達成させるのかということで、本日の資料でお示ししているとおり分野別計画とは別立てで掲載する予定です。</p> |
| 中村会長 | <p>このように各施策をバックアップする項目を掲載している計画は珍しいと思います。この部分があると市の取組の根拠となり、個別計画に繋がる内容になります。この第5章は本計画の特徴になると思います。</p> |
| 柳沢委員 | <p>資料2、41ページの主な施策指標「高齢者の施設利用者数」で、エコパの実績値が155,125人なのに対し目標値では平成35年度で150,000人に減っているのはなぜでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>その点につきましては、担当課に確認し内部でもう一度調整させていただきたいと思います。</p> |
| 柳沢委員 | <p>43ページの「放課後児童クラブ利用者満足度」についてですが、児童に対して満足度を測るものなののでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>対象者は保護者になります。</p> |

| | |
|------|--|
| 牛場委員 | <p>19ページの「主な施策指標」、「審議会等女性委員の比率」についてですが、これを指標として設定すること自体に問題があるのではないのでしょうか。審議会の種類によっては、女性が多く必要な審議会もあれば、そうではない審議会もあり、年度によってどのような審議会があるか分からない状況の中でこの指標を設定し、なぜそれが男女共同参画の推進に繋がるのかというイメージが湧きません。</p> |
| 事務局 | <p>現在、ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画を策定しており、その中でもこの指標を盛り込むということで担当課から伺っておりますが、ただ今のご意見を踏まえ、内部で確認させていただきます。</p> |
| 中村会長 | <p>最近、議会でもクォーター制とあって、強制的に女性議員の比率を決めるといふ動きがあります。したがって、その辺の動きなどを踏まえて、なぜこのような数字を設定するのかしっかり根拠を持っておかないといけないと思います。今回、ふじみ野市は前期基本計画の中で指標を設定しているので、この施策の指標の決め方というのはある程度、なぜ、この数字を使うことで効果を捉えられるのかと言った問いに、答えなければなりません。議会や市民から問い合わせがあったときに、なぜこの指標なのか、どのような効果があるのかと言うことに対応できるようにしておくことが必要だと思います。</p> |
| 牛場委員 | <p>満足度100%という指標が多く入っていますが、本当に100%を目標にするのでしょうか。本当にその数字は100%になるのか疑問に感じます。例えば、21ページの「主な施策指標」、「市民総合相談の利用者の満足度」や「消費生活に関する講座等参加者の関心、理解度」をどうやって捉えるのでしょうか。</p> |
| 岸委員 | <p>実績値が99%であったときに、目標値を100%にしないのも難しいと思います。</p> |
| 牛場委員 | <p>この指標は挙げるべきではないという意見です。</p> |
| 事務局 | <p>市側からしますと満足度なので、100%にしなければいけないという思いでそれぞれ取り組んでおります。目標として市側は100%を目指しているのだというところを示したいという思いがあり設定しているものです。</p> |

| | |
|------|---|
| 中村会長 | <p>どういふものを指標に設定しようかとしたときの議論は、庁内ではどのようなかたちでこの数字を決めていこうとしたのでしょうか。何を指標にしようというのは、恐らく行政評価を実施しているの、その延長線上で数字を取っていこうというのがベースになっているのかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおり行政評価をベースにしています。また、できればアウトプットではなくアウトカム指標が望ましいと考えておりますが、実際にアウトカムの数値を拾うことが難しいものもあり、最終的に指標を拾い出すことにはかなり苦労をした状況です。</p> |
| 中村会長 | <p>何を指標にしたら良いかというのは、膨大な作業が掛かり、それだけで一つのコンサル会社が立ち上がる分野です。この指標が良いかどうかという議論を行うと、審議会というよりは専門部に託す必要があると思います。前期基本計画の見直しの5年後に、数字という評価をどう捉えるべきなのかについては、例えば審議会とは別に専門委員会とか専門部会を設け、議論するということが必要なのかもしれません。今から本審議会で検討しましょうということになると、時間的には不可能であり、これを変更するというのは難しいと思いますので、各委員の皆様にもご理解をいただければと思います。</p> |
| 柳沢委員 | <p>37ページの「主な施策指標」、「コミュニティソーシャルワーカーの育成」における目標値は、本市において専門家の方が2名でよろしいのでしょうか。2名を目標値にした根拠は何でしょうか。コミュニティソーシャルワーカーが専門家として必要になってくるのは理解できますが、2名で十分に対応できるのか疑問です。</p> |
| 事務局 | <p>前期基本計画の期間内の目標値は2名という解釈ですので、指標自体の最終目標値ではありません。</p> |
| 柳沢委員 | <p>ここの指標は累計で2名であるとか、新規で2名といった表現で記載されるとわかりやすいかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおり、わかりやすくなるよう検討させていただきます。</p> |
| 岸委員 | <p>49ページの分野4「健康・保険」や分野8「防災・防犯」について、医師会として協力させていただいている観点での意見になりますが、先日も高齢福祉課の方から医療と介護をもっと連携させようという話しが</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>あり、実際、ケアマネージャーとの懇親会や意見交換会なども行っております。これからも継続していく事業ですが、リハビリステーション、デイケア、ショートステイなど、介護施設と医療機関の間でどうしても壁ができてしまっている状況です。共通する1人の患者さんであるにも関わらず、介護保険を利用したケアと医療保険を利用したケアではあまり交流がありません。それを何とかしようということを高齢福祉課と協議をしております。その点について、60、61ページの施策17「介護保険（生活支援）」、「施策目標の実現に向けた取組」の「（3）在宅医療・介護連携の強化」では、一文だけしか記述されておりません。厚生労働省からの指示でも、このような取組を進めていこうとしている事業でもあります。また、102、103ページの施策34「防災」ですが、昨年度も九都県市の防災訓練を医師会として携わりました。「現状と課題」の一つ目において、平成24年度から防災訓練をしており、医師会も協力させてもらい今後も実施していく中で、「関係機関との連携が必要です」と記述されているだけで、具体的な関係機関や取組などの記述をしても良いと思います。さらに、平成28年度3月末には市から100万円の補助金を医師会がもらい、災害時の備蓄用医薬品やトリアージサック、包帯などを購入しました。それを保健センターと大井総合支所の2カ所に配置する取組も進めているので、その点についても記載してもらえると良いと思います。医薬品には使用期限があるものとないものがあるため、使用期限があるものはすぐ使うようにして、循環型の備蓄品を進めております。このような取組を行っていない市町村も多い中、本市では取り組んでいることからPRした方が良いのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおり、現在の記述では不足していると思いますので、担当課と調整し記述内容について検討させていただきます。</p> |
| 中村会長 | <p>今までは行政だけで行ってきたものも、これからは地域の協力が必要になります。そこを、住民としてどのように取り組むのかという部分が現段階では十分に記載されていないというご指摘です。まず、医療の分野では、例えば地域連携で地域の人材、地域の医療や医療機関など、様々な協力を得て行っていくということを考えるのであれば、それをうまくどこかの部分で表現できないでしょうかということだと思います。医療・介護というと、介護の世界にも医療が関わっており、地域の医療機関と介護の方も連携させるので協力を求める話になります。防災の観点では、地域の医療機関や、そのような関係機関との連携によって防災力のアップを図るような表現を入れられるのであれば記述をお願いした</p> |

| | |
|------|---|
| 岸委員 | <p>と思います。</p> <p>九都県市の防災訓練では、建築関係や水道関係、ガス関係など様々な団体が協力しており、災害の際にはそのような関係者も必要になってきます。</p> |
| 中村会長 | <p>現在は、地元の商店街やコンビニなども、いざというときには商品を提供してくださいという協定を事前に結ぶという動きになってきております。そのような内容が記述されると、実際に実施計画では、協定を様々な関係機関と結び、具体的な施策になるのであろうと思います。岸委員のご意見では、その辺の地域との連携のような記述がされていないため、少し記述してもらえないでしょうかというご意見ですが、事務局はご検討いただける余地はありますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>検討させていただきます。また、防災訓練は医師会の先生方の積極的な協力のおかげで連携のある訓練が実施できております。これは他市とは異なり本市の特徴でもあることから、少し工夫して記述したいと思います。</p> |
| 中村委員 | <p>この件は一任になりますが、少し工夫をお願いできればと思いますので、よろしくお願ひします。パブリック・コメントまでには修正を間に合わせていただければと思います。</p> |
| 福村委員 | <p>資料1の18ページ、「5 求められる地域力の確立」と資料2の118ページ、「分野1 暮らしと地域コミュニティ」に自治組織に関する記述がありますが、こちらについて共感しました。実際に、各自治組織は高齢化しており、役員になる方がおらず会長も高齢化、さらに脱会する方も多く見受けられます。これからも様々な苦労をしながら継続していかなければなりません。自治組織全体の高齢化が進み、加入率の低下も懸念されるところです。</p> |
| 中村会長 | <p>今のご意見は、資料2の16ページ、「現状と課題」のところで「市内の自治組織では、会員の高齢化や加入率の低下など多くの課題を抱えており、市民自らの手による地域づくりのための人材の育成と地域での協働のまちづくり体制の環境整備が必要です。」と記述があり、今の課題になっているところです。</p> |
| 福村委員 | <p>分野4「健康・保険」においても、例えばいきいきクラブでエコパに行</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>中村会長</p> | <p>き、そこで食事を取ることや日帰りの研修も行ってあります。自治組織のイベントでは、防災訓練やスポーツフェスティバル、夏祭りなど、それぞれの団体で行ってあります。それをまとめていくのも大変なことです。</p> <p>資料2の17ページ、「施策目標の実現に向けた取組」、「(2)地縁活動や市民活動の支援」では、「自治組織や市民活動団体の活動について、主体性を尊重した支援を推進します。」という表現でとどまっておりますが、やはり具体的な施策の展開において様々なことを実施しなければならないのだらうと思います。「自治組織や市民活動について、主体性を尊重した支援を推進します。」との記述からすると、市でもしっかりとサポートをすることが必要であると感じます。実施計画を策定する際には、その点も踏まえ、本審議会で意見が出たという話を担当課にフィードバックしていただければと思います。また、これからは、地方創生に関連して、例えば、地域振興では産業も地域と一緒に、観光という話になれば、地域の協力が必要になる可能性もあります。そうすると、行政のみならず地域全体が共通認識を持って取組を進めていかなければならないと思います。</p> |
| <p>牛場委員</p> | <p>前期重点プロジェクトの「主な指標」の順番は、重要度の順番で並んでいるという考え方でしょうか。例えば、資料2、7ページの「“オールふじみ野”まちづくりプロジェクト」の「主な指標」では一番上に施策5があり、2番目と3番目が施策1になっております。これは、施策順ではなく重要度順なのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>この指標の順番は「重点的な取組」の順番に合わせておりますが、ご指摘のとおり施策の順番で並べるように整理した方が良いでしょうか。</p> |
| <p>牛場委員</p> | <p>その方がよろしいかと思います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>それでは、施策の順番に修正させていただきます。</p> |
| <p>中村会長</p> | <p>今回、本計画を策定する上で、どういう特徴で最大のポイントがどこにあるのか少し明らかにしておいた方がよろしいかと思います。ふじみ野市の最上位計画が、他の市町村の最上位計画とは違うという点があれば、そこは一つのセールスポイントとして持っていて欲しいと思います。少し特徴を抜粋して、例えばホームページ掲載や市民に説明するときに、「ふじみ野市の最上位計画はこういう特徴があり、他にない表現</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>がこういったところにあり、この計画によって実はこれだけ素晴らしいまちづくりが進められます」といったシナリオを作り、それをプロモーションとしてアピールして欲しいと考えます。それにより、ふじみ野市をアピールでき、人口増加にも繋がるようなツールに使用できたら良いと思っております。そのため、庁内でもご議論いただき、アピールポイント、セールスポイントを抽出して整理されてはいかがでしょうか。ぜひPRをお願いいたします。他にご意見がなければよろしいでしょうか。</p> |
| 全委員 | (特になし) |
| 中村会長 | <p>今回、各委員から様々な意見を出していただきました。各委員は市民を代表して出席いただいておりますので、中身のある計画になると確信しております。この第5回審議会がほぼ最後の議論になり、第6回では、修正するほどの議論はあまり取れないと思いますので、もし個別に修正して欲しい点やご不明な点がある場合は、パブリック・コメントまでに対応したいと思っておりますので、事務局まで申し出ただければと思います。出された意見は事務局から私の方に報告していただき、事務局と相談しながら詰めたいと考えております。共有が必要であれば、各委員にフィードバックいたします。他にご意見はよろしいでしょうか。</p> |
| 全委員 | (特になし) |
| 中村会長 | <p>特にないようでしたら、議題2「その他」ということで、事務局から連絡等があればお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>(2) その他について</p> <p>今後のスケジュールについてですが、5月26日から6月26日までパブリック・コメントを募集させていただきます。なお、このパブリック・コメントの募集に先立ち市民説明会を2日間開催させていただきます。1日目は5月20日の土曜日、大井総合支所1階災害対策室、2日目は5月21日の日曜日、本庁舎3階A301会議室で行います。時間は、両日共に午後2時から1時間半程度を予定しております。</p> <p>また、本計画の名称については、多くの市民の方に感心や親しみを持っていただけるような名称を募集しようと考えております。</p> <p>なお、次回の会議については、7月中旬を予定しておりますので、確定次第改めてご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>3. 閉会</p> <p>それでは、これをもちまして「第5回ふじみ野市総合振興計画審議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> |
|--|---|